



## 臨床心理士等と精神科医の違い

消防士の話で紹介しましたように、アメリカでは日常生活においてできえカウンセラーの助言を受けるのはごく当り前の話のようです。ここでの注目点は、アメリカにおいてこの役割を担って活動（仕事・活躍）しているのが、精神科医ではなくカウンセラーであることです。

日本でこのカウンセラーにあたるのが、認定された「臨床心理士」と「心理カウンセラー」です。現在国家資格はありませんが、充実した教育体制のもと知識、技術を身につけ、更には人間性を磨いたうえで組織ごとに実施される資格認定を受けています。もちろん、メンタルサポートグループに所属するカウンセラーも同じです。私たちのグループは臨床心理士、産業カウンセラー、その他の組織に認定された心理カウンセラーで構成されており、カウンセラー各人の拠って立つ理論も様々です。それ故、来室頂いた方々への幅広い対応が可能であると考えています。



また、私たちカウンセラーのいずれも医師ではありません。診断基準に従った精神疾患の判断を行ったり、診察を行ったり、更には治療、投薬等の医療行為は認められていません。このような領域は医師の範疇ですから、精神科医というのは、基本的に悪いところを見つけて治すという「修理型」の対応をしている、という事もできます。

これに対し臨床心理士やカウンセラーは治すと言うよりも、不安や心配を抱えた人がそれを乗り越えて成長するのをサポートしていきますので、その活動は、医師の「修理型」に対応して「成長型」と言えます。症状を抑えるのは医者任せ、少し心が軽くなったら、この出会い（障



害、喪失など) を一つのきっかけとして更に成長できるように共に考えていく、これがカウンセリングの基本精神です。

人生の主人公はあなたです。私たちカウンセラーは、ある時、ある期間、あなたと共に歩く、そんな存在なのです。常にあなたの可能性を信じて。